

Streetlight Tagpuro

ストリートライト・タグプロ

Tacloban City, Philippines

フィリピン、タクロバン市

Eriksson Furunes Architecture, Leandro V. Locsin Partners & Boase

エリクソン・フルネスアーキテクチャー、レアンドロ・V・ロクシンパートナーズ&ボーセ

スーパー台風ハイヤン後のコミュニティーとのコラボレーションによってデザイン・建築されたスタディーセンターとオフィス、孤児院

世界中の自然災害や人為的災害の増加に伴い、建築家や建築がどのように災害復興の取り組みに貢献できるかを理解することがますます重要になっています。災害後のシナリオにおいて建築家は最も必要とされないという主張がありますが、計画・設計・建築の過程で共同・協力的な手法を取り入れることにより、災害復興における被災者の自主性を尊重することができます。ストリートライト・タグプロ (Streetlight Tagpuro) は、フィリピンのタクロバン市を襲ったスーパー台風の 3 年前に始まり、台風直撃後 3 年間の再建を通して協調的なデザインと建築プロセスを用いたプロジェクトです。

ストリートライト・タグプロはワールド・アーキテクチャー・フェスティバル 2017においてシビックとコミュニティーカテゴリーおよびスモール・プロジェクト・オブ・ザ・イヤーの 2 部門で受賞。

**

2013 年 11 月、スーパー台風ハイヤンは、フィリピン南部のレイテ州タクロバン市を荒廃させました。台風ハイヤンは史上最強の台風とも言われています。現地の NGO ストリートライトはストリート・チルドレンや近隣のコミュニティに社会福祉を提供していたところ、台風によって海岸沿いの孤児院やリハビリセンターは破壊されました。被災後、ストリートライトは、ストリートチルドレンとコミュニティーの安全を図り、施設の再建を 16km 北の内陸に決めました。

絵描き、詩づくり、モデル作成、マッピング、物理的プロトタイピングを使用した一連の参加型ワークショップを通して、建築家らとコミュニティーによる共同デザインが行われました。この方法は、コミュニティーによるプロジェクトのオーナーシップを強めるとともに復興の自主性を尊重するために重要な役割を果たしました。

デザインの過程では「開放的&軽量」と「閉鎖的&安全」という空間的な概念がコミュニティの共感を得ました。これらのコンセプトは、災害時における安全と安心を保ちな

がら、開放的で自然との共生を実現したいというコミュニティーの願望を明確にしました。デザインの過程は何らかの形で被災者の心理的トラウマの対処にも役立ったと言えます。

「開放 **vs.** 閉鎖」および「軽量 **vs.** 重量」という対立する 2 つの概念は、鉄筋コンクリートに対して通気性のある軽量な木枠を使用することにより具現化されました。木枠は空間の通気性を確保し、コンクリートは災害時に避難所を提供します。プロジェクトに参加した子供の父親らによってデザイン・作成された木材を使用したドアや窓は通気性確保のための隙間が残されています。コミュニティーによる空間のデザインを支援することにより、プロジェクトはコミュニティー自身によって見出された現地のアイデンティティーを間接的に表現しました。

ストリートライト・タグプロの建築は、建築素材のありのままの価値、職人技、テクニックの表現、および地方固有の感受性の価値を探求しました。地元の労働者による適用可能性に基づいて材料や建築手法を意図的に選択することにより、建設プロセスはコミュニティーの能力開発と生計手段向上の一環として機能しました。最後に、ストリートライト・タグプロは建築にとどまらず、自主表現の枠組みを提供する参加型およびコミュニティー発信の設計プロセスを用いたことによりコミュニティー共通の価値観や共通の意義を表現する機会を生み出しましたのです。

略歴

アレクサンダー・エリクソン・フルネス (Alexander Eriksson Furunes) —
英国の AA スクールで学んだ後、ノルウェー科学技術大学 (NTNU) で建築修士号を取得。彼の建築スタジオである Eriksson Furunes では、英国、インド、フィリピン、ブラジル、ベトナム、中国における一連のコミュニティーとの共同プロジェクトを実施。現在はノルウェーの芸術研究プログラム (2016-19) に所属し、参加型建築を研究する芸術博士候補生。

スダルシャン・V・カドカ (Sudarshan V. Khadka Jr.) — i.incite アーキテクツのプリンシパル。以前は、レオナルド・V・ロクシンパートナーズ (Leandro V. Locsin Partners) のアソシエイトとして複数のプロジェクトを担当。2016 年のヴェネツィア建築ビエンナーレではフィリピンパビリオン「Muhon：青年都市の痕跡」のキュレーターチームメンバー。

公式プロジェクト名: ストリートライト・タグプロ：オフィス、スタディーセンター&孤児院 (Streetlight Tagpuro: Office, Study Center & Orphanage)

所在地: フィリピン、タクロバン市タグプロ

完成年: 2016

エリア: 1200sqm

クライアント: Streetlight Inc

建築家／デザイナー: エリクソン・フルネスアーキテクチャー (Eriksson Furunes Architecture) 、 レアンドロ・V・ロクシンパートナーズ (Leandro V. Locsin Partners) &ボーセ (Boase)

プロジェクトリード: アレクサンダー・エリクソン・フルネス (Alexander Eriksson Furunes) 、 スダルシャン・V・カドカ (Sudarshan V. Khadka Jr.) &ジェイゴ・ボーセ (Jago Boase)

チーム: Miko Verzon, Aldo Mayoralgo, Pierre Go, Sai Cunanan, JP Dela Cruz, Kurt Yu, Jiddu Bulatao, Otep Arcilla, Mhark Docdocos, BJ Adriano, Gela Santos, Matt Varona & Pebbles Miranda, Zoe Watson, Laura Lim Sam, Christian Moe Halsted, Rebecka Casselbrant and Lise Berg

写真提供者 (Photo credits) : Alexander Eriksson Furunes